

# 教科研講座 8月6日(水)10時~12時

対面のみ



初日の午前中から  
集まって、教育と文化の  
視野を広げましょう!



内容

世話人

## 1 私の教室物語から始めよう ーコンシャスネス・レイジング

「あの子が立ち上がってお話に来た」喜びが  
「立ち歩きを止められない」指導力不足の評価になる。  
モヤる。The personal is political おしゃべりして考え合ひしよう。

菅野真文(北海道)  
石本日和子(兵庫)

## 2 哲学対話で教育学入門

哲学対話で考え議論する、教育実践者のための教育学入門講座です。  
専門知識は不要、教師以外の方も大歓迎。  
講師は神代健彦(京都教育大学)。

神代健彦(京都)  
寺尾昂浩(神奈川)

## 3 対話と学びが広がる教室

学級経営のためのファシリテーションの具体的な姿を紹介します。  
安心して学ぶ場としての教室を創造していきたいです。  
講師は小学校教諭の萩内恵さん(ホワイトボード・ミーティング認定講師)です。

増田陽(東京)

## 4 読書のアニメーション ー言葉を楽しむ・言葉に流されない

読書のアニメーションは、仲間とワイワイ楽しみながら広い本の世界へ誘います。  
①国語辞典で楽しむ(岩田) ②SNSのアニメーション(笠井)を通して案内します。

笠井英彦(静岡)  
泉宜宏(東京)

## 5 戦後80年と現代

アジア・太平洋戦争の見方がこの80年でどう変わってきたのか。  
今後の課題としては何があるかを皆さんと語り合いたいと考えています。

全 竜太郎(東京)  
新東一樹(山梨)

## 6 アメリカの政治経済はどこへ向かうのか

トランプ政権発足によって世界は不安に包まれています。  
どんな展望のもと諸政策を展開しているか、またその条件はなにか、  
学びたいと思います。

中村清二(東京)  
全馬国晴(神奈川)

## 7 食育は無数の可能性を秘めている

給食の向こう側を想像したことがありますか?  
食の意から世界と日本の社会を見てみよう!  
食を教科・領域とつなげば、子どもたちの学びは無数に!

富田充保(神奈川)  
千葉香佳(東京)

## 8 あそびを通して子どもの権利を考える!

三鷹を拠点として活動する「NPO法人 あそび環境Museum アフタフ・バーバン」  
による子どもの権利条約ワークショップです。  
大人も子どもも関わりながら遊びながら、それぞれの思いを表現しながら  
「子どもの権利」について考えあひましよう。

福家珠美(神奈川)

# 分科会 8月7日(木)9時30分~17時

※第12分科会は休会  
※第18分科会は教育問題フォーラムで開催

対面  
オンライン  
併用



◎は対面のみ



内容

世話人

## 1 子どもの生活と文化 現代の子育てと 親・おとな

今を生きる子どもの声と姿

○現代社会は子ども本来の育ちを保障しているか  
○子どもへの要求はかれらの自由を奪っていないか  
○今を生きる子どもの声と姿から現代の子ども観を問い直す

泉 宜宏(東京)  
新東一樹(山梨)  
石本日和子(兵庫)  
渡邊由之(大阪)

## 2 青年期の教育

公教育の筋体に抗し、  
学校内外に豊かな青年期の教育を

○学生のリアルに触れる大学教育  
○青年期に向かう高校教育の実践  
○地域で若者を支え、育てる

児美川孝一郎(東京)  
南出吉祥(岐阜)

## 3 能力・発達・学習

強いられる主体性と子どもの発達

○学習指導要領にみられる新自由主義の具現化  
○枠のなかで主体性を強いられる子どもと教師  
○単色の有能さや主体性ではない豊かな発達のあり様を考える

神代健彦(京都)  
前田晶子(神奈川)

## 4 身体と教育

人類の進化・進歩と「からだづくりと認識」

○地球規模の自然環境変化と人類の観点から  
○コミュニティと人類の観点から ○デジタル化と人類の観点から  
○養生・保健観と人類の観点から

山本晃弘(神奈川)  
野田 耕(福岡)

## 5 美的能力と教育

小学生の今を受け止めながら  
表現の可能性を拓く

○一人ひとり異なる子どもたちの表現を拓く園児の3年間  
○目の前の子どもに姿に呼応する脚本づくりと劇活動  
○参加者による多様な表現活動の実践紹介と交流

落合利行(東京)  
山田康彦(三重)

## 6 ここと教育◎

主体的な学びをつくることばの教育

○ことばの豊かな発達とコミュニケーション  
○ことばを育てる国語・外国語の授業  
○生活に根ざして紡ぐ自己表現活動

瀬口 優(東京)  
神 郁雄(東京)

分科会

テーマ

内容

世話人

## 7 社会認識と平和

社会科授業の発展を目指して

○社会科系科目の学習指導要領改訂をめぐる論点整理  
○地球市民を育てる歴史教育実践  
○ICTを活用した地理教育実践 ○主権者を育てる政治教育実践

池田孝司(北海道)  
一盛 真(鳥取)

## 8 自然認識と教育

「自然を不自然と感じる」子どもの  
認識課題を考える

○「自然離れ」と子どもの自然認識の発達課題を探る  
○子ども・青年の自然認識を育てるカリキュラムと実践課題を探る  
○実践小学校内での自然教育

伊東大介(東京)  
三石初雄(東京)

## 9 道徳性の発達と教育

子どもの(食)から考える  
ケア・倫理・共同性

○「道徳と教育」部会のあゆみ~自主性、人権、そして子どもの生活へ~  
○「こども食堂」に集う子どもと大人  
○中学社会科で食と動物福祉を学ぶ

櫻井 敏(東京)  
田口和人(群馬)

## 10 教育課程と評価

公教育における多様で豊かな学びと  
教育課程の創造

○学習指導要領の改訂動向を見すえて  
○公立学校(小・中・高)での学びと教育課程  
○さのくに学園での実践 ○NPOと学校が協働して行う学びづくり

梅原利夫(東京)  
菅間正道(埼玉)

## 11 学校づくり

いまを生きる子どもと共に学校をつくる

○東京の子ども、学校の現在  
○福祉現場から見える子どもと家族、学校の姿  
○子どもが主人公となる教育課程と学校をつくる

田沼 朗(東京)  
三橋勝美(埼玉)

## 12 政治と教育

子ども・若者を取り巻く政治と  
社会の困難に向き合う

○改めて「新自由主義」と教育を問う  
○学びの多様化と教育の公共性  
○主権者教育と社会構造への視点

中田康彦(東京)  
寺尾昂浩(神奈川)

## 13 性と教育

子ども・若者の権利と性

○子ども・若者の性をめぐる現状  
○権利としての性の学び  
○総括討論

中嶋みさき(埼玉)  
横井夏子(栃木)

## 14 発達障害と教育

子ども理解の深化と自己の育ちを  
支える実践の追求

○一人ひとりの願いや困難、教師・援助者や家庭への理解を深める  
○子ども・青年の「自己の育ち」を支える教育実践のあり方を探る

加茂 真(新潟)  
小池雄造(東京)

## 15 教師の危機と希望

教師のやりがいと専門性を考える

○いま教師と学校がおかれている現実を確かめる  
○「日々の苦勞とやりがい、そして教師としての生きがい」を語り合う  
○実践報告を通して教師の専門性を考える

山崎隆夫(東京)  
霧村三三(埼玉)

# 教育問題フォーラム 8月8日(金) 9時30分~12時

対面  
オンライン  
併用



フォーラム

内容

世話人

## A 学習指導要領改訂の動向と教育課程

次期学習指導要領改訂は、教育の目標・内容だけでなく、  
学校の制度や形態も焦点にしています。改訂の動向を見据えつつ、  
子どもの願いと要求に応える教育課程を展望します。

本田伊克(宮城)  
久保田真(愛知)

## B springbord! ー教科書「が」教える授業を超えて

教科書をバネ(springbord)として、子どもの学びが飛躍する授業を  
紹介しながら、授業をつくることの楽しさを考えます。  
(教室と授業を語る分科会企画)

石垣雅也(滋賀・北海道)  
村越含博(北海道)

## C 学校と地域、 コミュニティスクールとはなにか。

学校と地域の連携は、学校、地域によって異なります。  
三鷹市で一つの小学校と連携する「夢育支援ネットワーク」の  
20年の活動から、可能性と課題を探ります。

荒井文昭(東京)  
本山 明(東京)

## D 教育系NPOと公共性のゆくえ

教育の公共性を考える際、公教育の周辺で活動する「教育系NPO」の  
存在が大きくなっているが、単純な是非論を超えて、実践的協働を  
進めていく回路を探ります。

南出吉祥(岐阜)  
寺尾昂浩(神奈川)

## E リベラルな私学が抱える課題

子どもの人権や自由を尊重し貴重な実践を創ってきたリベラルな  
私学が、教育の継承や生徒募集で困難に直面しています。  
私学の課題と展望について交流します。

田沼 朗(東京)  
米山昭博(東京)

## F 学校の「男性性」を問う

『学校の「男性性」を問う』が教科研編で出版されます。  
執筆者が、学校の「男性性」を語り、ジェンダー平等と子どもの  
からだ(命)を大切に教育を皆さんと一緒に考えます。

菅野真文(北海道)  
石本日和子(兵庫)

## G 気候変動と教育

深刻な気候変動が地球規模で進行している現在、教育になにが  
できるでしょうか。本フォーラムでは、諸外国の事例から私たちが  
取り組むべき課題を考えます。

神代健彦(京都)  
大日方真央(三重)